

各位

株式会社 東北銀行

「紫波町新庁舎整備事業（PFI 事業）」に対するシンジケートローンの組成について ～地域金融機関が連携し「地産地消型プロジェクトファイナンス」を実施～

株式会社東北銀行（取締役頭取 村上尚登）では、岩手県紫波町で実施している「紫波町新庁舎整備事業（PFI 事業）」（以下、「本事業」）に対するプロジェクトファイナンスについて、当行が主幹事となりシンジケートローンを組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。本事業は紫波町内に本支店を置く 4 金融機関が連携し、地域の PFI 事業を地域金融機関の資金で支援する「地産地消型プロジェクトファイナンス」となります。

当行では、今後とも、PFI・PPP等の手法を活用した地方創生の取組みを支援し、地方活性化に向け積極的に取り組んでまいります。

記

1. 本件概要

- (1) 事業名称：紫波町新庁舎整備事業
- (2) 事業主体：紫波シティホール株式会社
- (3) 事業地：岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目 3 番地 1
- (4) 総事業費：約 35 億円（消費税及び地方消費税を含む）
- (5) アレンジャー：東北銀行
- (6) 組成金額：21.2 億円
- (7) 契約締結日：平成 27 年 4 月 1 日
- (8) 参加金融機関：東北銀行、北日本銀行、盛岡信用金庫、岩手中央農業協同組合

2. 経緯

本事業は、岩手県紫波町が進めている「紫波中央駅前都市整備事業（通称：オガールプロジェクト）」の一環として実施されます。オガールプロジェクトは、紫波町が町民や民間企業からのアイデアを募り策定した「紫波町公民連携基本計画」に基づき、JR紫波中央駅前の町有地 10.7ha において都市整備を図る事業であり、平成 23 年 4 月に「岩手県フットボールセンター」が整備され、平成 24 年 6 月に中核施設となる「オガールプラザ」が整備されました。平成 25 年 10 月に「オガールタウン日詰二十一区」で紫波型エコハウス基準による宅地分譲が始まり、平成 26 年 7 月には民間複合施設「オガールベース」がオープンし、年間約 80 万人を超える交流人口を創出しています。新たな都市機能の整備によりこれまで以上の「賑わい」が創出され、地域経済の発展が期待されます。

以上



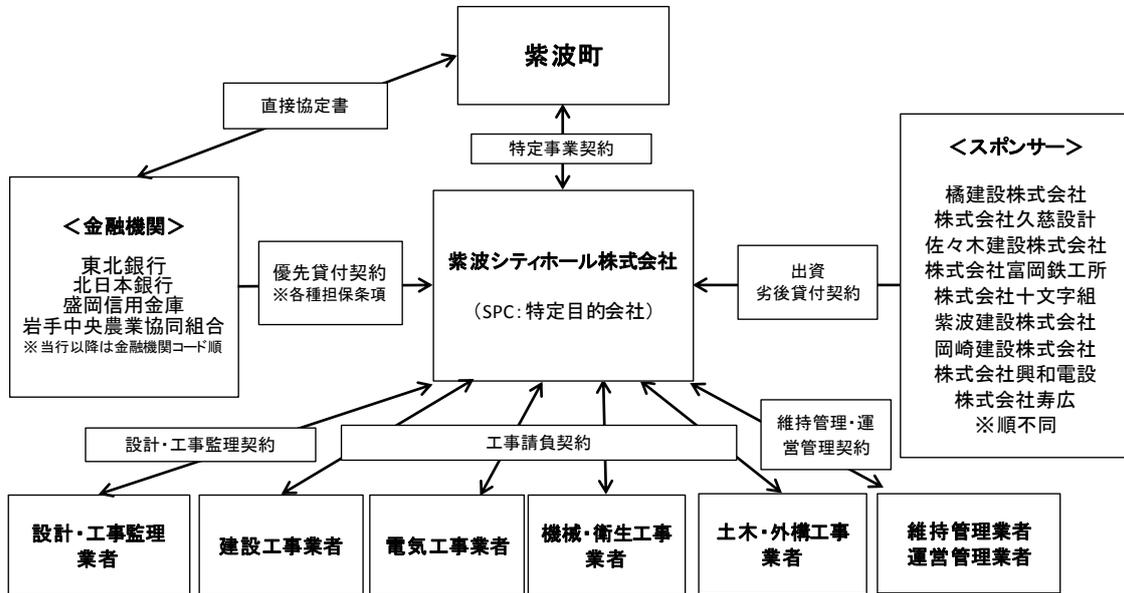
〒020-0023 盛岡市内丸 3 番 1 号

電話番号 019-651-6161

FAX 019-653-1291

ホームページ <http://www.tohoku-bank.co.jp>

【ご参考Ⅰ】プロジェクトファイナンスのスキーム図



【ご参考Ⅱ】施設概要



以上

【本件に関するお問い合わせ】

地域応援部 (担当: 高橋)

融資部 (担当: 東)

電話番号: 019-651-6161